

2015-2016 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter 6

Rotary
District 2510



国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度ガバナー 嵯峨義輝

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
e-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>



2015-2016年度 国際ロータリーのテーマ

「世界へのプレゼントになろう」

Be a gift to the world



国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度 地区目標

1. 会員増強と維持率向上の推進

会員数5%純増

2. オンラインツールの利活用の推進

「ロータリークラブ・セントラル」「My Rotary」への登録、利活用推進
ウェブサイトやSNSを活用した公共イメージの向上

3. 人道的奉仕活動の継続と推進

ポリオ撲滅、復興支援、国際奉仕活動の継続と推進

4. ロータリー財団への理解と協力支援の継続

ロータリー財団に関する情報発信
直接的・間接的寄付の継続

**第2510地区
重点課題**

1. クラブ戦略計画への支援

2. 新会員のフォロー支援

3. クラブサポートの強化

Contents

●ガバナーメッセージ	1
●2016年国際ロータリー規定審議会出席報告	2
●ロータリーコーディネーターニュース	4
●ロータリー、来し方行く末	5
●米山学友会(北海道)清掃活動	7
●米山奨学生のご紹介	8
●米山学友会歓迎会	9
●米山寄付・ロータリー財団寄付	10
●広報委員会よりお知らせ	11
●ポリオプラス委員会より/文庫通信	12
●新会員のご紹介/地区カレンダー	13
●出席率・会員数	14



今一度「世界へのプレゼントになろう」 を考える

国際ロータリー第2510地区

2015-2016年度ガバナー **嵯峨 義輝** (岩見沢RC)

2015年7月にスタートした私たちの年度もいよいよ最後の月となりました。ガバナーとして成すべき事、地区として各クラブに対して何が出来るかを考え置き準備を進めながら緊張の中7月1日を迎えたことがつい先日のように感じています。以来11か月、様々な経験をさせて頂きました。特に地区内70クラブを公式訪問させて頂き、それぞれのクラブの生い立ちや歴史、地域との絆の深さを実感し素晴らしいロータリアンの皆様と出会えた事はガバナーだからこそできる特権であると感じております。反面ガバナーとして皆様に何を残せたか、これは皆様に判断していただく事ですが最後まで全力で走り続けたいと思っております。すでに次年度体制が7月からのスタートの準備を整え、今年度の会長・幹事の皆様もほぼゴールが見えてホッとしているところだと思いますがあと一ヶ月ともに頑張ってみましょう。

さて本年度地区目標に掲げた会員増強と維持率向上ですが、皆様のご努力の結果11月末では94人増の2620人と素晴らしい勢いで成果を上げて頂きました。しかしながら3月末では異動のシーズンでもあり2595人と一歩後退となってしまいました。その後また挽回して頂いておりますが引き続きの会員増強、特に年度末の退会防止にご尽力いただきたいと願っています。ロータリーは継続してこそ新しい発見もあります。公式訪問や地区の行事で出会った皆様とはずっと共にロータリアンでありたいと思っております。

また今年度を振り返ってみると様々な変化が具現

化した年でした。まずは月間テーマが大きく変更されました。さらにロータリーグローバルリワードのスタート、そして規定審議会での様々な決定事項がありました。今年度ガバナー月信では塚原房樹パストガバナーに「ロータリー来し方行く末」という連載寄稿をお願いしました。なかなか刺激的な文言も飛び出し、私もドキッとしてしまうところもありますがロータリーの歴史を再確認し、変化していく国際社会、その中の国際ロータリーの方向性をどう理解し自分達のロータリーをどう捉えていくか深く考えるきっかけを与えて頂きました。塚原パストガバナーに感謝申し上げます。

さて6月はロータリー親睦活動月間です。ここは前年度と変わっていませんがこれはあくまでクラブにおける親睦活動ではなくRI理事会の承認を得た国際奉仕の一部門として位置付けられている「ロータリー親睦活動」を指しています。どんな親睦活動プログラムがあるかは詳しくはネットで調べて頂きたいと思いますが、囲碁やゴルフ、サイクリングからビール・ワイン鑑賞など様々です。親睦活動に参加することにより趣味や職業活動を通じて国際親善と奉仕に貢献しています。皆様ぜひ参加してみたいかがでしょうか。

最後になります。今一度ラビンドランRI会長のメッセージを読み返してください。私達に与えられたこの時間は自らが変わり、更に多くの周りの人達に訴えていくための時間です。行動はこの後も続けていくべきものでしょう。世界へのプレゼントにならしましょう。

2016年国際ロータリー規定審議会出席報告

国際ロータリー第2510地区

代表議員 **丸 山 淳 士** (札幌真駒内RC・PG)

2016年4月10日から16日まで、2016年規定審議会がアメリカ合衆国・シカゴ市で開催されました。世界から523地区の代表者が一堂に集まりました。

前回2013年に開催され、投票様式や資料連絡事項などが改善され、殆どすべて電子媒体での方式になりました。そのため、あらかじめ規定審議会用のアプリを携帯電話およびパソコンなどにインストールすることが義務づけられました。会場での投票もすべて電子機器で即座に場内のスクリーンに結果が表示される仕組みでした。各提出議案が訂正あるいは変更になった場合は直ちに変更箇所を携帯またはパソコンの画面で確認しなければなりません。

各国の代表はもちろんすべてパストガバナーであり、私を含め高齢な方々が殆どです。皆さん、非常に良識を持っており、RI理事会の提案や現会長からの意見などにも真剣にその真意を問い詰め、ほぼ全員が納得できる結果を導き出していたと思います。

議論が長引き、初日の会議開始は午前9時からでしたが、翌日は午前8時からに変更となり、終了も午後6時から午後7時までと長丁場の会議となりました。

会場は熱気でむんむんしており、居眠りできるような雰囲気ではありませんでした。私語や余興も無く、少しの休憩時間を挟んで延々と質疑応答が繰り返されました。

まず、一番の報告は人頭分担金の増額です。ほぼ財政破綻直前の国際ロータリーの立て直しのため、2017-18年度から2019-20年度まで年間4ドルの値上げが長時間審議の上可決されました。この案件は充分時間をかけるため、他の審議に先立って約半日をかけて議論されました。これが通ることで、ほぼ確実に国際ロータリーの財政立て直しが完了する見通しとなりました。リーマンショック以来の投資利益減が財政を





圧迫している主要な原因となっていました。

次いで今回の特徴と言えることに、「柔軟性」という「例外規定」がクラブ例会頻度と出席に関する項と会員身分の項に限り認められたことでしょう。クラブの特殊な事情がある場合、週に1回という規定にとらわれず、1ヶ

月に最低2回の例会をクリアすれば、同一週であっても複数回の例会を開催できることとなりました。

出席規定に関しては、欠席による会員身分の終結は認められないこととなり、クラブ細則に定めて良いこととなった。クラブ細則に変更をしない場合は、従来通りのままとなる。

また、クラブに入会する場合の「入会金」という文言が削除されました。若い人たちの入会を困難としているのは「入会金」であり、これを排除することで若い人々の入会の機会を増やすという意見が大勢を占めました。

会員身分を各クラブ独自で決定できることになり、夫婦、家族の入会が簡単にできるように考慮されました。クラブ理事会の報告は60日以内に文書で報告することになり、クラブ会計は理事会メンバーとなることも決定しました。

また、CLPに基づく5つの常任委員会を設置することが望ましいとされました。

また、祝日のある週の例会は取り消しができることが可決されました。これにより、年に4回の例会取りやめとの兼ね合いから、月に最低2回の例会頻度をどのようにするかがクラブの裁量となります。従来型の例会とネットによる例会は、いずれも例会開催が可能な状況があればどちらを選択しても良くなり、E-クラブと従来型クラブとの違いが無くなりました。

その他詳細は追ってガバナーを通して各クラブに報告されることとなります。

次回の3年後まで、毎年オンラインによる決議審議が代表議員と次期代表議員によって行われることとなり、これにより規定審議会本会議の議題を少なくする方向になります。

以上、簡単に要旨をご説明申し上げました。

ロータリーコーディネーターニュース

2016年6月号

3年目のロータリーコーディネーターを終えるに当たり

第3ゾーン・ロータリーコーディネーター

金 杉 誠 (横浜西RC)

国際ロータリーは2010年に会員数の伸び悩みを打破すべく戦略計画を策定し、その計画に基づき諸施策を実行してまいりましたが、残念ながらこと会員数に関する限り未だ十分な成果を上げたとは言えません。勿論私自身コーディネーターとしての実力不足、努力不足を反省しなければいけないのですが、最後に感じたことを申し述べたいと思います。

そもそもロータリー活動と言うものは本質的に自発的なものであり、強制されるべきものではないので、クラブには大きな自主権が認められております。CLPにせよ、クラブ戦略計画にせよ、実行しなければロータリークラブとして認めないと言うことではない、むしろ本年度の規定審議会の結果を見れば、クラブ自主権は拡大される方向にあるとも言えます。

では会員増強の為にどうしたら良いのかと言えば、「我々は何故ロータリアンであり続けるのか？ロータリーの魅力とは何か？」と言う設問に対しての、地区やクラブのリーダーの皆様方の発信力を磨くということに尽きるのではないかと思います。上記の設問に対するしっかりとした回答を、地区やクラブの皆様方一人お一人に良くお考えいただきたい、そしてそれをしっかりと集約して頂きたい、それが地区やクラブの戦略計画策定の最大の目的なのではないかと思います。

得てして日本人は保守的な傾向が強い、そして「和をもって尊しとなす」に表されるように突出した意見や急激な改革を好まない傾向があるように思われます。もちろんその良さもあるのが日本の社会ではありますが・・・。現在のような少子高齢化や、中央一極集中が急激に進展し、格差が開いてきている状況では、いつまでも前例踏襲では困るのではないのでしょうか？前例踏襲を打ち破るためにもリーダーの皆様方の徹底した話し合い、即ち戦略計画策定が必要なのではないのでしょうか？

良く考えますとこの問題は決してロータリーだけの問題ではない、むしろ今の経済社会状況の閉塞感を考えれば、日本全体の問題ではないかと思う次第であります。もともとロータリーはその特徴的な「職業奉仕」の精神によって、日本の経済社会に与えた良い影響は大変大きいと思います。そのように考えていくとき、ここにこそ日本のロータリーの進むべき新しいフロンティアが見えてくるような気がしてなりません。曰く、若者や女性や退職高齢者の入会を促し、地方やわが町を活性化するために努力し、より合理的で生産性を向上させて少ない会費で効果を上げる、これはそのまま、一億総活躍社会の実現であり、地方創生運動であり、生産性の向上による経済の活性化であります。つまるところ、ロータリーにせよ、日本全体にせよ、求められるのはイノベーションであります。私たちが社会に対して負っております責任を思い起こし、ロータリーの再興と日本社会の再興に向かって立ち上がろうではありませんか！その為にはクラブのお一人お一人の勇猛心を期待して最後のご挨拶としたいと思います。長いこと有難うございました。

ロータリー、 来し方行く末

連載 第12回

ポール・ハリスは フリーメイソンだった



国際ロータリー第2510地区

パストガバナー 塚原 房樹
(札幌東RC)

10月号の月信で、アメリカにはフリーメイソンを筆頭に私的結社が数え切れないほど沢山あると書きました。「ウィキペディア」によると、《フリーメイソンは、16世紀後半から17世紀初頭に、判然としない起源から起きた友愛結社。現在多様な形で全世界に存在し、その会員数は600万人に上り、うち15万人はスコットランドならびにアイルランドに、25万人は英連邦に、200万人は米国に所属している》とあります。

特筆すべきことは、ロータリーの創始者ポール・ハリスはフリーメイソンでした。またライオンズクラブの創始者メルビン・ジョーンズもメイソンでした。

したがって世界最大の奉仕クラブであるロータリークラブもライオンズクラブもフリーメイソンリー(Freemasonry)から派生したといえます。

ポール・ハリスは奉仕活動に専念する組織として、ロータリークラブを設立したといわれています。当然のことでしょうが、ロータリークラブの入会資格はフリーメイソンのものと類似していました。

フリーメイソンの入会資格は、成年男子で、世間での評判が良く、高い道徳的品性の持ち主であり、年会費を収めることなどです。ちなみに入会金は4万円で年会費は8000円だそうです。

ここで注目すべきはフリーメイソンの会員数は600万人ということです。ロータリーもライオンズも、会員増強・組織維持が最大の目標ですが、会員数は120万人プラスマイナス・アルファでフリーメイソンには遠く及びません。

とかく、フリーメイソンリーとは一つの集団とか組織みたいなふうに誤解されがちですが、そういう中央集権的な組織ではありませんし、組織全体を代表して話すような、スポークスマンも実はいないのです。

そのところに注意してください。フリーメイソンリーの組織形態というのは、ピラミッド型の上意下達組織ではなく、各地の本部が並立していて、それぞれが相互に承認し合っています。国と国との間の外交関係のようなものです。ある国のフリーメイソンリーが伝統的なルールを破った場合、最大の“制裁”は、他のロッジから承認を取り下げられることです。そうなるとつき合いが断たれ、他のロッジを訪問することができなくなり、世界的なフリーメイソンリーのネットワークの一員として認められなくなります。

つまりフリーメイソンリーは国、地方・地域のそれぞれの事情に合った、より適切で柔軟な地方分権による統治を行うことができます。メリットは、その地域で自分たちが必要なものだけにお金を使うことができます。

それに引き換え、ロータリーのクラブ管理はRIとクラブの直結方式による中央集権システムで、組織全

体から収集した情報を基に、RIの理事会が各クラブを統括・管理します。ピラミッド型の階層が形成され、RIが財源や決定権を持ち、下層になるほど機能が細分化されたり、財源や決定権が小さく制限され、上下方向の統制がより強化されています。

それぞれの国における固有の風土、文化に盲目的な統治は必ず失敗します。フリーメーソンが600万人の会員に支持されているということは、構成員の満足度が高いからでしょう。

言いかえるとロータリーは機能体であり、メーソンは共同体だということです。機能体は企業、軍隊などのように、その組織の目的達成のため統率力を高めますが、共同体は自然発生的なつながりで生まれ、同じ地域に居住して深く結びついている人々の集まりで、構成員の心地よさを追求することが究極の目的です。共同体が組織の拡大のために構成員に犠牲を強いることになれば、本来の目的に反しています。クラブ本来の魅力を失います。組織の管理運営にはこの区別を明確に意識する必要があります。

メーソンとロータリーの会員数の差は、共同体と機能体の差によるといえすぎでしょうか。中央集権と地方分権の違いといえいいのでしょうか。

フリーメーソンのメンバーには著名人が大勢おり、アメリカの大統領、ジョージワシントンを始め、歴代15名のアメリカ大統領も会員でした。ぜひ知っていただきたいことは、メーソンであるということは、米国などでは社会的なステータスが非常に高いと評価されることです。そのために、大勢の有識者、有力者が入っています。一例をあげると、今から十年ほど前、米国のある雑誌が、全米のトップビジネスマン1万5千人を対象にして、アンケートをとったのです。その結果、有効回答のうちの大半、約1万人がメーソンの会員であると判明したそうです。

米国だけでなく、ヨーロッパでも、メーソンのステータスは高く、英国ではロイヤル・ファミリーが入会するのは伝統となっています。エリザベス女王は女性ですから入れませんが、そのかわり、ケント公が英国のグランドマスターに就任されています。スウェーデンでは、皇太子が入っています。

メーソンの記録をたどると日本のロータリーに縁のある会員には東ヶ崎潔氏(1960)と山田ツネ氏(1974)の名前があります。東ヶ崎潔氏は、日本人として最初のRIの会長となりました。

山田ツネ氏は、東京麴町クラブの会員でポリオの惨状に深い関心を寄せ、ポリオ撲滅という壮大な計画を発足させるきっかけを作りました。メーソンの名簿では、山田(ツネ)氏とカタカナ名になっていますが、麴町ロータリークラブの会報には、山田彝氏とあります。大変難しい字ですので拡大してみました。

ツネ ⇨ 彝 (意味は人の常に守るべき道、常道)

組織にとって会員増強は必須の課題です。そのためには、共同体としてのロータリーをもう一度見直す必要があるでしょう。

米山学友会 (北海道) 清掃活動

地区米山学友委員会

委員長 **本 多 宏 行** (余市RC)

4月24日(日)は、米山学友会(北海道)の新規事業でもあります河川清掃活動を行いました。故郷を遠く離れ日本に住んでいる学友の人達が、地域社会に感謝の意を込めて清掃活動を行いたいという思いからこの事業はスタートしました。早速担当者が札幌市と清掃事業について打ち合わせに行ったところ、そこには大きな壁が立ちはだかっていました。屋外の公共の場所でなければボ

ランティア袋の対象にならない事、ボランティア袋で集めたごみも分別が必要な事、収集したごみの処理等。折角の学友の思いが消入りそうになった時、羽部パストガバナーから「札幌南クラブの清掃事業と一緒にやりましょう」と思い掛け無いくらいお誘いを頂き、喜んで参加させて頂く事となりました。当日は、前日の寒さとは打っ

て変わり絶好の清掃日和のなか米山学友会からは7名、札幌南ロータリークラブ、札幌南ローターアクト、ライラックロータリー衛星クラブの皆さんと総勢58名の参加でした。ごみ袋やヒバサミを手に持ち小グループを作り和気藹藹と豊平川河川敷の清掃活動を行いました。その後は、ホテルでの懇親会に参加させて頂き無事終了となりました。

米山学友会の人に感想を聞くと、「公共の場所を地域の方々と一緒に清掃したことでこの場所に愛着がわいたし、なによりも地域の方々が、自分たちが住んでいる土地を本当に大切にしていることを実感した。ロータリアンの方だけでなく、若い人達も参加しており自然にふれながら環境の大切さや地域住民のあたたかさを若いうちから体験することができる素晴らしい活動だと思った。」





「ロータリアンの方々と一緒に清掃活動するということは知っていましたが、いざ参加してみるとたくさんの人がいて驚きました。ただゴミ拾いをするだけでなく普段決して接することのない人達とコミュニケーションをとることができ楽しく活動することができました。また、最初、川岸を見た時「結構綺麗だ」と

思いましたが、清掃を始めてみると、普段あまり人目につかない橋の下などにゴミが多かったため、大変驚きました。今回清掃した場所は豊平川の河川敷でしたが、もし、自分の地元でこのような活動があれば積極的に参加したいと思いました。」

最後に学友会の会員を快く受け入れてくださいました、札幌幌南ロータリークラブの加藤会長はじめクラブの皆さんに感謝申し上げ報告とさせていただきます。



～米山奨学生のご紹介～

私の目標は

カマロヴァ, ジロラ Kamalova Zilola (室蘭北RC)

私は母国で土木を勉強していました。その頃ウズベキスタンで大地震が起きて多くの建物が破壊されました。そんな経験後日本に留学して建築を勉強することを決心しました。2010年、文部科学省の奨学金に受かって2011年に日本に留学しました。

日本語は母国でいっさい勉強したことがなかったので、初め日本語に非常に苦労しました。でも諦めることなく日本語能力試験2級に合格しました。現在、大学では建築の上部構造と基礎構造をしっかりと身に付けています。建物の基礎構造と上部構造を一体に考えて地震応答を予測する研究をしたいと思います。大学院に進むことを決心しています。日本で最後の目標は技術士という資格をとることです。日本で留学を終了後、ヨーロッパに行って土木技術を学んで、建築と土木構造技術者になる夢を持っています。



米山学友会歓迎会

地区米山学友委員会

委員長 **本 多 宏 行** (余市RC)

5月8日(日)札幌第一ホテルを会場として新しい試みでもあります「米山学友会歓迎会」を開催いたしました。2016年度、米山学友会(北海道)に入会する学友と米山記念奨学生となった奨学生の皆さんを合わせてお祝いしたいとの思いから企画されました。学友会は従来、学友と学友家族の親睦を図る家族懇親会という事業を行ってまいりましたが、新しく会長となった汪会長と新役員の「奨学事業に携わる人たちと親睦を深めることが出来る様な事業を行いたい」という声から歓迎会を開催する事になった訳です。けれども、歓迎会開催までの道のりは簡単なものではありませんでした。役員会を開催しても、役員が集まらず流会になった事もありました。また、会議の中で自分の意見を主張するがあまり大きな声を出し、その為不協和音が流れ役員心がバラバラに成ってしまったこともありました。さらに、自分たちの力で事業を企画し実行するには無理がある従来通りロータリーの人達にお任せしようと後ろ向きな気持ちに成ってしまった時もありました。しかし、奨学生の皆さんに喜んでもらいたい。ロータリアンの皆さんに成長した姿を見てもらいたい。その強い思いから、自らの足で現地に赴き調べてくる者、人に頭を下げて歓迎会のやり方を聞いて来る者、会議の中では試行錯誤を繰り返しながらアイデアを出し合い、歓迎会での役割が決まると何度も何度も原稿を書き換えて練習し、そう言った一人一人の小さな努力の積み重ねの果てに歓迎会の開催がありました。当日は、沢山のロータリアン、財団学友、奨学生にお集まりいただきました。何副会長の開会宣言で歓迎会が始まり、米山学友会(北海道)汪会長の歓迎挨拶の後、来賓の嵯峨ガバナーと塚原ロータリー米山記念奨学会理事より挨拶を頂き、武部ガバナーエレクトの乾杯で宴会が始まりました。米山学友、奨学生、ロータリアンが久しぶりの再会で各テーブルが盛り上がり、至る所で話の花が咲いておりました。宴会の中程で、米山学友、奨学生、財団学友の皆さんに



り米山記念奨学会理事より挨拶を頂き、武部ガバナーエレクトの乾杯で宴会が始まりました。米山学友、奨学生、ロータリアンが久しぶりの再会で各テーブルが盛り上がり、至る所で話の花が咲いておりました。宴会の中程で、米山学友、奨学生、財団学友の皆さんに

自己紹介をお願いしました。ステージの上では、幾分緊張気味でしたが米山学友も財団学友も、今の自分の状況と奨学生の時にお世話になった事や、ロータリーと関わりを持った事により目標がより高い物に変わってしまったこと等、感謝の気持ちを込めて話していました。また、



奨学生は4月のオリエンテーションから少し成長したのか最後までしっかり自分をアピールしていました。続いて、学友の朴さんより米山学友会の説明と入会してからの経験談を楽しく話して頂き、肖さんと張さんから



は、奨学生に向けて奨学生時代の経験と奨学生として楽しく過ごせる方法を話して頂きました。最後に札幌東RCの米谷さんと小樽RCの渡邊さんと羽部パストガバナーからカウンセラー時の苦勞した経験や楽しい思い出を紹介して頂きました。国立ガバナーノミニーの乾杯で無事終了しました。今回の事業は、歓迎会としてはどこも変わったことの無い物だったかもしれませんが学友会としては新たな一歩を踏み出した事業でした。汪会長を中心とする学友会の皆さんの努力に感謝申し上げ報告とさせていただきます。

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌清田RC	丹治 典久	会員(1回)	4月20日	：	長沼RC	佐々木信雄	会員(1回)	4月27日
札幌清田RC	高橋 宣充	会員(3回)	4月20日	：				

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

ポール・ハリス・フェロー

札幌大通公園RC	菅原 秀二	会員	4月7日	：	函館東RC	小林 眞樹	会員	4月27日
登別RC	石田 佳久	会員	4月8日	：	函館東RC	吉田 昇	会員	4月27日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

江別RC	藤原 敏雄	会員(2回)	4月22日	：	函館五稜郭RC	石坂 仁	会員(3回)	4月1日
当別RC	大澤 勉	会員(1回)	4月28日	：	函館東RC	松井 久男	会員(1回)	4月27日
当別RC	島田 裕司	会員(1回)	4月28日	：	函館東RC	佐藤 雄喜	会員(2回)	4月27日
室蘭東RC	荒井 孝亘	会員(2回)	4月27日	：	函館東RC	吉川 達也	会員(2回)	4月27日
七飯RC	上野 一義	会員(6回)	4月7日	：				

広報委員会よりお知らせ



2016-2017年度の広報委員会では、
我々ロータリーの活動を
財界さっぽろの誌面を通じて
一般の皆様へお知らせする取組を行います。



第1弾 7月号

(6月15日発売)

[2017年6月号までの全12回連載予定]



第1弾は、武部2016-2017年度ガバナーが語ります。

記事作成にあたりましては、各クラブのご協力を
どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ロータリー動画配信中!



RD2510 広報委員会制作
動画チャンネル公開中!
【ガバナーメッセージ編】
【ロータリー広報編】

ホームページ右列にある
バナーからご覧ください。



ガバナー メッセージ編



ロータリー広報編

[ホームページアドレス] rid2510.org

または で

スマートフォン
からはコチラ



ポリオプラス 委員会より

野生型ポリオは昨年より確実に減ってきています。しかし今撲滅の手を休めると又増えてくる事になります。今期の募金目標額は会員1人30ドルとなっておりますが、金額は基よりお願いしたい事は地域の皆様へポリオ撲滅の意義と募金を行うキャンペーン活動です。是非昨年同様各クラブの皆様には地域に対するポリオ撲滅のキャンペーンを計画をお願い申し上げます。

END
POLIO
NOW

野生型ポリオ症例数

2016年5月11日現在

	国	2016年 今年に入って	2015年 同時期	2015年 年間合計	麻痺が発生した 最後の年月日
常在国	パキスタン	9	22	54	2016年4月12日
	アフガニスタン	5	1	20	2016年4月4日
世界合計		14	22	74	

【世界はポリオウイルス撲滅まで後少しです。】

《三価経口ワクチンから二価経口ワクチンへの切り替え》

2016年4月17日から5月1日にかけて、三価経口ワクチンを使用している115の国と地域が二価経口ワクチンへと切り替えます。2015年9月にポリオウイルス第2種が撲滅されたことにより、残り2種類のウイルスを予防する二価経口ワクチンを使用することになりました。

過去10年間のうちに確認された、循環型ワクチン由来ポリオウイルスの事例は90%以上が第2種野生ポリオウイルスによるものでした。今回の切り替えによりワクチン由来のポリオウイルスのリスクを減らせるのではと期待が高まっています。

《国際ラウンド2016 ポリオ根絶への道》

5月の伊勢志摩G7サミットに向け、グローバルヘルスの課題として、感染症に関する世界の注目が集まっている中、ポリオ撲滅に向けた取り組みに弾みをつけるべく、ロータリーを始めて、官・民・学の各団体が4月12日東京麹町で一堂に会し世界のポリオの現状と今後の課題について話し合われました。会議には、UNICEF本部ポリオチームディレクターやWHO世界ポリオ根絶活動推進担当者又ポリオ常在国のパキスタンの日本大使、国際ロータリーからは、小沢一彦インターナショナルポリオ・プラス委員、更にポリオ根絶を目指す我が国の国会議員連盟の方々などが多方面からの報告がなされ、ポリオ撲滅最終章に向けた活動を確認されました。

「GPEIポリオニュース&ロータリー財団ニュースより」

文庫通信



(344号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

[下記申込先：ロータリー文庫]

「Rotary Magic」 江崎柳節 2016 12p (D.2710月信地区大会特集号)

「ロータリーにおける意志と信頼」 ビチャイ・ラタクル D.2550 2015 43p (D.2550地区大会記念講演)

「ポール・ハリスとロータリー」 諏訪昭登 2016 7p

「入り手学ぶ奉仕の心」 安孫子貞夫 2016 4p (D.2800月信)

「ロータリーは円形ではない。楕円形である。」 塚原房樹 2016 1p (D.2510月信)

「転轍手待望論」 塚原房樹 2016 2p (D.2510月信)

「クラブ定款は自分のクラブ独自のものか？」 櫻木英一郎 2016 1p (D.2790月信)

「ロータリーの目的 その1～4」 深川純一 2015 4p (純ちゃんのコーナー Part XIV)

「決議23-34」 東大阪みどりR.C. 2016 2p (ロータリーの歴史に学ぶ)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

新会員の紹介 (敬称略)



倶知安RC
鈴木 督
4月1日入会
自動車販売



千歳RC
石崎 薫
4月7日入会
電力事業



千歳RC
今野 徳幸
4月21日入会
地方銀行



恵庭RC
掃部 晃
4月27日入会
食品製造業



札幌北RC
川本 欣夫
5月9日入会
衛生設備工事



札幌北RC
鈴木 隆也
5月9日入会
ホテル



新札幌RC
坂谷 英司
5月11日入会
電力供給



岩見沢RC
山本 修
5月12日入会
普通銀行



千歳RC
野寄 豊文
5月26日入会
小型貨物運輸

地区カレンダー (6月)

6月 ロータリー親睦活動月間	
1(水)	
2(木)	
3(金)	
4(土)	余市RC創立55周年記念式典(余市)
5(日)	日台ロータリー親善会議(金沢)
6(月)	札幌南RC創立60周年記念式典(札幌)
7(火)	
8(水)	
9(木)	
10(金)	
11(土)	
12(日)	現新地区委員長・ガバナー補佐 合同引継ぎ会議(岩見沢)
13(月)	
14(火)	
15(水)	
16(木)	
17(金)	
18(土)	~19(日) インターアクト年次大会(札幌)
19(日)	
20(月)	
21(火)	
22(水)	
23(木)	
24(金)	
25(土)	ローターアクト年次大会(赤平)
26(日)	
27(月)	
28(火)	
29(水)	
30(木)	2015-16年度終了

2016年6月のロータリーレート 1ドル 110円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2016.4.30	増 減	内女性	
1	深 川	4	34	35	1	3	83.71
	羽 幌	4	43	46	3	2	79.35
	妹背牛	4	11	11	0	0	75.00
	留 萌	4	38	41	3	3	65.09
	小 計		126	133	7	8	75.79
2	赤 平	4	26	25	-1	0	83.53
	芦 別	4	37	34	-3	2	84.68
	砂 川	4	37	39	2	0	92.11
	滝 川	4	78	84	6	4	79.00
	小 計		178	182	4	6	84.83
3	美 唄	4	32	30	-2	0	85.19
	江 別	4	31	36	5	1	78.47
	江別西	4	26	25	-1	3	87.00
	岩見沢	4	73	78	5	0	94.47
	岩見沢東	4	22	22	0	3	88.01
	栗 沢	4	22	22	0	1	84.60
	栗 山	4	22	26	4	5	90.39
	当 別	4	27	28	1	0	89.49
	小 計		255	267	12	13	87.20
4	札 幌	3	117	116	-1	1	98.18
	札幌はまなす	4	16	18	2	3	87.50
	札 幌 北	4	34	38	4	3	91.89
	札幌モーニング	3	39	39	0	0	79.77
	札 幌 西	4	51	49	-2	8	81.24
	札幌西北	3	32	33	1	3	83.40
	札幌手稲	4	37	40	3	4	90.47
	小 計		326	333	7	22	87.49
5	札 幌 東	4	122	127	5	0	98.12
	札幌清田	4	16	15	-1	4	100.00
	札幌幌南	4	70	69	-1	11	100.00
	札幌真駒内	4	24	23	-1	5	100.00
	札 幌 南	4	79	83	4	2	98.50
	札幌大通公園	4	13	13	0	1	55.77
	新 札 幌	4	24	24	0	3	97.37
	小 計		348	354	6	26	92.82
6	岩 内	4	19	21	2	1	78.16
	倶知安	4	39	40	1	5	79.30
	小 樽	4	74	76	2	2	85.27
	小樽南	4	73	72	-1	3	84.00
	小樽銭函	4	19	18	-1	1	75.00
	蘭 越	4	10	11	1	0	100.00
	余 市	4	48	48	0	5	79.60
	小 計		282	286	4	17	83.05

4月出席率・ 会員増減数	クラブ数	70クラブ
	期首会員数	2,526人
	当月末会員数(女性)	2,605人(140人)
	増加会員数	79人
	当月平均出席率	83.22%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2016.4.30	増 減	内女性	
7	千 歳	4	54	58	4	3	85.45
	千歳セントラル	4	38	40	2	5	82.50
	恵 庭	4	46	48	2	2	87.02
	北 広 島	4	17	19	2	1	84.21
	長 沼	3	19	18	-1	3	75.00
	由 仁	4	8	9	1	0	66.67
小 計		182	192	10	14	80.14	
8	えりも	4	18	20	2	1	100.00
	三 石	4	13	13	0	1	70.15
	様 似	4	21	21	0	1	75.60
	静 内	4	64	68	4	1	90.42
	浦 河	4	22	24	2	1	95.83
	小 計		138	146	8	5	86.40
	9	伊 達	4	55	57	2	0
室 蘭		4	30	38	8	1	76.54
室蘭東		4	34	35	1	0	74.30
室蘭北		4	40	42	2	3	79.76
登 別		4	32	32	0	1	84.38
洞 爺 湖		3	9	9	0	0	81.50
小 計		200	213	13	5	78.65	
10	函 館	4	82	85	3	1	74.39
	函館亀田	4	41	43	2	4	85.12
	森	4	33	36	3	0	90.00
	七 飯	4	17	17	0	0	67.20
	長 万 部	4	8	8	0	0	68.75
	函館セントラル	4	22	23	1	2	69.32
	小 計		203	212	9	7	75.80
11	江 差	4	12	12	0	1	69.00
	函館五稜郭	4	51	49	-2	0	83.08
	函 館 東	4	47	46	-1	5	71.87
	函 館 北	4	21	22	1	0	88.87
	北 斗	3	13	13	0	0	61.50
	松 前	2	4	3	-1	0	75.00
	小 計		148	145	-3	6	74.89
12	白 老	4	33	33	0	2	80.00
	苦小牧	4	51	53	2	2	81.45
	苦小牧東	4	27	27	0	5	92.59
	苦小牧北	4	29	29	0	2	99.08
	小 計		140	142	2	11	88.28
合 計		2,526	2,605	79	140	83.22	

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数11人(内女性会員6人)を含む
3月の出席報告について室蘭北RCの会員数が訂正となりましたので3月末日の会員数を2,595人(うち女性会員140人)に訂正します

第8グループ紹介 / 表紙の解説

今、日高ではトキ鮭漁でにぎわってます。我々第8グループは、静内、三石、浦河、様似、えりもの5つのクラブがあります。おかげさまで、この1年間で6名の会員増強がなされました。各クラブの年間の事業もほぼ終了致しましたし、武部年度に、向けた補佐の引き継ぎのご挨拶も、静内の不動エレクトとご一緒に無事に済ませたところです。残り1ヶ月あまりですが嵯峨年度では、大変お世話になりました。

